



空き家対策

佐藤 剛太

千年希望の丘協会

須藤 功

一問一答方式による一般質問

問 今後、少子高齢化が進み、人口減少が加速していく。岩沼市では空き家問題がまだまだ深刻な問題になっていないが、逆に岩沼市に住みたいが土地がなく、家を建てられず住めないという話もある。必ず今後空き家は増える。その問題に対する早期の対策と岩沼市にある空き家を活用して1人でも多くの定住者の拡大や地域活性化につなげていくことが必要と考える。空き家の現状とこれまでの取組を伺う。

生活環境課長 平成27年度から空き家等管理台帳を作成して、現在、54件の空き家を把握しています。

問 今まで民間業者とはどのような連携を行ってきたのか伺う。

総務部長 現在、公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部と相談窓口を担っていただけるよう調整を進めています。

空き家対策に支援制度を

問 効果的な支援制度を活用して、空き家の解消を定住者の拡大につなげるべきではないか。

総務部長 行政側の補助制度により支援することについては、十分な検討が必要と考えています。

問 以前、質問があった農家住宅(市街化調整区域)の空き家に対して、どのような取組を行ったか伺う。

総務部長 対象の区域は市街化区域だけではなく、市域全体、市街化調整区域の空き家も含めて活用についての相談を受けていただくことで、先ほどの2つの公益法人と相談窓口の設置について進めています。

問 空き家を活用した地域活性化を行えないか伺う。

総務部長 岩沼市は空き家があるとすぐに買い手が見つかるのが現状です。空き家という情報が伝わることよって空き家が解消されていくということですが、まず調整を行っていききたいと考えます。

◎その他の一般質問
・シティプロモーション

問 千年希望の丘協会とはどのような法人か伺う。

総務部長 一般社団法人で、剰余金の配分を目的としない法人です。平成29・30年度の岩沼市競争入札参加資格審査申請の資料では、千年希望の丘の保存及び整備、運営、管理を支援し、岩沼市の市勢発展と住民福祉の向上を図り、併せて協会員の親睦を深めることを目的とする法人となっております。

問 代表や社員は何人か。

総務部長 代表理事は井口経明氏で、役員は同氏を含め4名です。

問 岩沼市から平成29・30年度に草刈りの依頼を受けている。両入札の入札状況と結果を伺う。

総務課長 29年度分は、4公園分の除草業務で、契約額は税込み1987万2千円です。また、30年度は6公園分の除草業務で、契約額は同じく税込み2111万4千円です。

問 この入札は委託で、1900万円とか2200万円という数字になっている。どのような入札方法なのか。何社で競争したのか。

随意契約なのか。
総務課長 今回の入札は随意契約で、1社です。

入札は分割発注としては

問 実質的な草刈りは全部地元の農業生産法人に下請として出しており、だとしたら単なる草刈であれば、年4回やらなければいけないなら、そこ(農業生産法人)に分割して発注するとか、もしくは一括して発注するならば、もっといろいろな法人や組織にも入札機会を与えていいと思う。これは疑われると思うが、そう思わないか。

総務課長 この団体は地域の事情等にも精通しており、地元の関係団体との連携もとれます。また、作業箇所も複数にわたりますので、その取りまとめ的な部分を玉浦地区の農業法人等の農作業の状況等も踏まえながら、調整をしていたり、取りまとめの団体の業者選定となっております。

◎その他の一般質問
・相野釜地区農業集落排水施設